



Tornado Jr.2014 Report

知ると知らずで大違い。百聞は一見に如かず。

今回で第5回を迎える Tornadoes Jr. 2014 が、去る3月26日～4月4日の日程で開催されました。

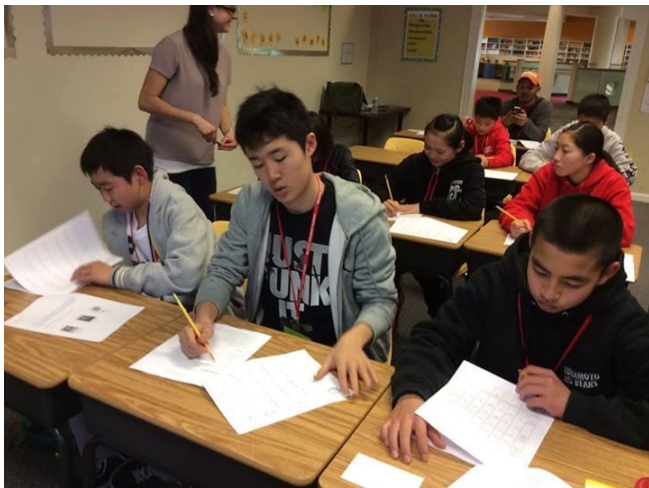
熊本から3名、大阪から2名、新潟・京都から各1名、そして愛媛からは大量7名の参加。それに帯同コーチとして Tornado Academy 北九州 Orange Raise の ryu コーチ、そして牧野が現地コーディネーターとアテンドを務めてくださった西田辰巳コーチとともに、シアトルの地で有意義なキャンプを過ごしました。



Tornado Academy の指導の根幹にもなっていて、自分よりも身体能力に優れた選手と対峙するスキルを学び、バスケットボール IQ を鍛えるジェイソン・バスケット氏主宰の Emerald City Basketball Academy (ECBA)

での5日間にわたるスキル・トレーニングと、シミズ・ユカ先生代表を務める Bellevue Children's Academy での英会話レッスンが2本柱となっている今回の Tornado Jr.。しかし中味はそれだけでは終わりません。

予定されていたポートランドでの NBA 観戦、シアトル観光などに加え、急遽ジェイソン氏からの誘いを受けて ECBA の年代別チームの練習への参加、さらには英会話の先生方の提案で BCA の同年代の生徒たちとプレイグラウンドでのバスケ対決。この秋、日本から数名が留学、バスケットボール・チームにも参加することが決まっているケネディ高校への訪問。そしてそのケネディ高校での現役生たちからの熱烈な歓迎！



言葉もままならず、街に出ればちょっとしたコミュニケーションにも不自由する中での“自由行動”も何よりの経験です。基本的にコーチ陣は手助け無し。参加者同士助け合いながら、異国の地での「日常」を楽しんでいるように映りました。

昨年に引き続き参加した、小学校を卒業したばかりの女の子2人はさらなるビッグ・サプライズ。昨年のキャンプと、昨夏日本で開催されたジェイソン・コーチのクリニック・ツアーでのスキルが認められて、ECBA の U-12 チームに急遽コール・アップ。リーグ公式戦に出場機会が



もらえることに！西田コーチに通訳をしてもらいながら、前日の戦術確認の練習にも参加。U-12でも180センチを超えるような選手もいる中、また雰囲気も日本とまったく異なる中、激戦の2試合を堂々プレイしたのです。その活躍ぶりは、ファウル・ゲームが展開される接戦となった2ゲーム目のいわゆるクラッチ・タイムでも、2人がコートに立っていたことから伺えます。コーチの信頼に足るプレイができていたということだと思います。



ECBA でのトレーニング・メニュー

- 【1日目】ボールハンドリング・コントロール（片手）
- 【2日目】シュート（パワーを伝える姿勢）
- 【3日目】1on1（計画する）
- 【4日目】スクリーンとカッティング
- 【5日目】ポスト・ムーブ



これまで5回のキャンプで、40人あまりの日本の将来を担うジュニア年代が参加しました。参加者たちは、それぞれ色々な決意や、夢や、課題を抱いてこのキャンプに参加しました。彼たち、彼女たちも、シアトルで過ごした9日間で急にバスケが上手くなるわけではありません。また、突然英語がペラペラになるなんてこともありません。



それでも日本に居ては決して見られないものを見、体験できないことを体験することで、将来への夢もさらに大きいものになったはずです。ツアー最終日に行った参加者全員へのインタビューでは、それぞれが自分らしく夢や将来について語ってくれました。

そして、みんな異口同音に唱えていたのは、これまで当たり前だと思っていた「日常」。バスケットボールができる環境、毎日の食事、周囲の仲間、そして家族のみんなへの感謝の気持ちでした。



日本の未来は希望でいっぱいです。

※Japan Basketball Academy Monthly Newsは原則として月1回発行します。HOOPにまつわる楽しい話題、ためになる情報をお知らせください。

発行責任者：JBA 愛媛 牧野淳 mackee1968@gmail.com